

KANAGAWA HOHYUH CLUB

神奈川県放友会



Newsletter

Vol.18.No2. Apr.2025  
第 70 号

神奈川県放射線友の会 (略称 神奈川県放友会)

〒231-0033 横浜市中区長者町 4 丁目 9 番地 8 号

ストーク伊勢佐木 1 番館 501 号

TEL 045-681-7573 FAX 045-681-7578

発行人 中村 豊

発行日 2025 年(令和 7 年) 4 月 1 日

巻頭言

「2025 年問題」と放友会

会長 中村 豊

「2025 年問題」とは「団塊の世代」800 万人全員が 75 歳以上の後期高齢者となり、超高齢社会で生じる医療・社会保障の提供が追いつかない社会状況のことをいう。下図によると 2025 年には後期高齢者の人口が 2,180 万人に達し、高齢者は 30%を超える。



### 2025 年の超高齢者社会の状況

厚生労働省が描く 2025 年の社会像とは

1. 高齢者人口の推移：高齢化の進展の「速さ」から、高齢化率の「高さ」が問題化する。
2. 認知症高齢者数：約 320 万人。今後、急速な増加が見込まれる。
3. 高齢者世帯数：約 1,840 万世帯。約 7 割が 1 人暮らし、または高齢夫婦のみの世帯となる。
4. 年間死亡者数：約 160 万人（65 歳以上約 140 万人）。
5. 首都圏をはじめとする「都市部」の高齢者人口増加：高齢者の「住まい」の問題等、従来と異なる問題が顕在化する。

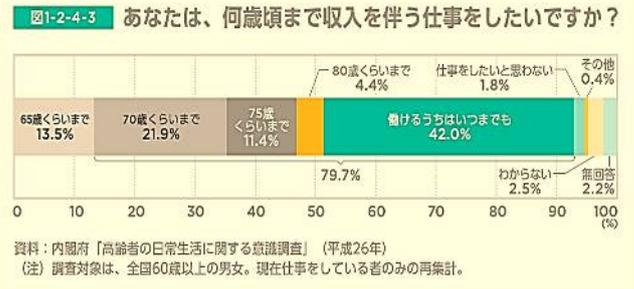
2025 年問題の社会的影響の一つが、医療費や介護費の増大、またそれに伴う現役世代の負担の増大である。年金なども含めた社会保障給付費が 2025 年度には約 150 兆円超になると推計されている。一方、サラリーマンの保険料率は 2025 年度には 31%に増えると見込まれ、現役世代の負担をいかに軽減するかも大きな課題となる。

しかし、これらの社会的問題が起こることは従前から予測されたが、国の社会保障、労働力確保、少子化問題などの複雑に絡み合う政策は省庁間を越えて十分論議されず、先送りされ、対応が遅れが生じている。

### 働くシニアを増やす対策

労働人材の確保については女性、シニア、外国人の雇用を増やすことが対策としては急務である。シニアについては高齢者の就労促進が議論されてきた。2021 年 4 月から「高齢者雇用安定法」の一部が改正され、70 歳までの就業機会の確保について、多様な選択肢を法制度上整え、事業主が努力義務を設けるものである。

多様な就労形態と労働条件により働くシニアは年々増加傾向にある。2023 年では 65～69 歳の 52%、70～74 歳の 34%、75 歳以上の 11.4%の男女が働いている。また、現在仕事をしている 60 歳以上の約 4 割が「働けるうちはいつまでも働きたい」と考え、「70 歳くらいまで」と「それ以上」を合わせると約 8 割が高齢期を迎えても高い就業意欲を持っている。



### 放射線技師の一律な定年制廃止

国はいつでも、どこでも最先端の医療を提供できる医療を目標にしている。高齢者の増加により、医療を必要とする患者の増加が予測されている。そして AI の導入による医療の変革も予想されている。そのためには放射線診療技術に優秀な人材確保を継続するために放射線技師の定年制廃止と定員制導入もひとつの方策である。定年制は一般的に平等と考えられるが、人それぞれに就業意欲や働ける能力・体力は異なる。一律な定年制を廃止し、高齢者の適格性や心身の健康状態を定期的に把握して、柔軟に人材活用することも人材確保の対策となる。

### 今後の放友会のために

放友会は 2017 年 11 月 17 日に発足し、18 年間活動を継続している。しかし、放友会にも全体的な高齢化が進んでいる。このままでは会の衰退も考えられる事態に陥る可能性がある。活動の原動力は会員の組織力である。今年では会員増加を積極的に行う活動を行わなければならないと考えている。

令和 7 年度の総会を開催します。総会資料を掲載しますので、会員皆様の会員増加に対する積極的なご意見や活動報告、活動計画のご審議をお願いします。

# 令和 7 年度 神奈川県放射線友の会 総会資料

令和 7 年 (2025 年) は能登半島地震が発生から 1 年が経ちます。1 日も早い復旧・復興を願います。

今年は会則 13 条に定める通常の総会を開催します。会員皆様の出席をお願いします。総会開催日は 4 月 19 日 (土) です。(詳細は NL70 号 告示を参照)

令和 7 年度総会開催にあたり、令和 6 年度会務の活動報告及び令和 6 年度会計報告、令和 7 年度事業計画案及び予算案を総会資料といたします。

- [内容] 1) 令和 6 年度事業及び会計報告総括  
 2) 令和 6 年度監査報告  
 3) 令和 7 年度事業計画及び予算案  
 4) 令和 7.8 年度役員改選案

## I 令和 6 年度事業及び会計報告総括

令和 6 年度事業計画に基づいた活動を実行しましたのでそのすべてを報告します。

役員の熱意と奉仕、会員のご賛同を得て、実行された活動内容を報告します。ご討議を宜しくお願い致します。

- 1 会員数 49 名 (賛助会員 個人 1 名を含む)  
(令和 7 年 3 月 15 日現在)
- 2 会議
  - ・総会 1 回 令和 6 年 4 月 13 日 (土)
  - ・定例理事会 5 回 (他メール理事会 2 回)  
4/13、6/8、9/21、12/14、3/15
  - ・メール理事会 2 回  
7/1 1/10

## 3 事業活動

NUMO 地層処分事業について更に理解を深めるための自主的な活動企画に応募し採用され、実施しました。

- ・東濃地科学センター見学
- ・「講演と音楽の集い」の開催

放友会独自事業としては、金沢文庫と称名寺散策と創立記念会員懇親会を企画し、実施しました。

- 1) 9 月 26 日 (木)・27 日 (金) 東濃地科学センターの見学を行いました。8 名参加  
 26 日 (木) は中部電力の「でんきの科学館」見学、その後事前勉強会として「高レベル放射性廃棄物の地層処分について」の講義を NUMO 原一朗氏から受けました。  
 27 日 (金) は土岐地球年代科学研究所・東濃地科学センターを見学しました。
- 2) 10 月 10 日 (木) 金沢文庫と称名寺散策、その後昼食を兼ねた懇親会を開催しました。  
 11 名参加

- 3) 11 月 17 日 (日) 創立記念会員懇親会の開催  
 13 名参加、会場は桜木町ワシントンホテル 5F 「ダイニング&バー ベイサイド」。昼食しながら「よくぞ続いた放友会、これからどうする？」と題して参加者からの近況報告と提言等をお聞きし、意見交換をしました。
- 4) 「講演と音楽の集い」12 月 1 日 (日) 開催、参加者 219 名。講演は「知っていますか! 地層処分」東海大学工学部教授、若杉圭一郎先生。癒しの音楽は「音楽の杜管弦楽団」指揮、野武重忠氏による・チャイコフスキー くるみ割り人形組曲・ホルスト 吹奏楽のための第一組曲・ドボルザーク 交響曲第 9 番 (新世界より) を熱演しました。  
 (活動の詳細は Newsletter69 号に掲載)
- 5) 神奈川県放射線友の会「地層処分」学習活動の報告リーフレットを作成しました。
- 6) 日本原子力文化財団の広報動画サイト「知爽の人」に「神奈川放友会の活動」についての紹介が掲載されました。
- 7) 「神奈川放友会 News letter」の発行 年 4 回  
 第 66 号 Vol.17 No.2 2024.04.01 A4 版 8p 70 部  
 第 67 号 Vol.17 No.3 2024.07.01 A4 版 8p 70 部  
 第 68 号 Vol.17 No.4 2024.10.01 A4 版 8p 70 部  
 第 69 号 Vol.18 No.1 2025.01.01 A4 版 8p 70 部
- 8) ホームページを 1・4・7・10 月に更新しました。

## 4 会計報告

### 令和 6 年度 会計報告

		収入	予算額	決算額	増減
収入の部	会費		50,000	69,000	19,000
	雑収入 (寄付金)		10,000	33,330	23,330
	事業収益		0	0	0
	前年度繰越金		72,681	72,681	0
	<b>収入合計</b>		<b>132,681</b>	<b>175,011</b>	<b>42,330</b>
		支出	予算額	決算額	不用額
支出の部	印刷費		20,000	13,608	6,392
	発送費		20,000	21,448	-1,448
	活動運営費 (会場費等)		10,000	0	10,000
	事務用品費		10,000	12,309	-2,309
	会議室借用費		16,000	10,000	6,000
	会議費		10,000	13,000	-3,000
	予備費 (県技師会新年会)		46,681	37,891	8,790
			<b>132,681</b>	<b>108,256</b>	<b>24,425</b>
収入決算額 175,011 - 支出決算額 108,256 = 66,755					
<b>次年度繰越金 66,755 円</b>					

5 役員

会長 中村 豊  
 名誉会長 長谷川 武  
 副会長 橘 亨 小嶋 昌光  
 理事 橋口 邦紘 早瀬 武雄  
 仙臺真紀夫 千田 久治  
 草柳 伸彦 上前 忠幸  
 監事 福田 利雄 小松崎眞一  
 相談役 野口 雄司 氏家 盛通

各種委員会と担当理事

総務委員会 財務 橋口 ・ 総務 早瀬  
 企画実行委員会 役員全員  
 広報委員会 役員全員

II 令和 6 年度 監査報告

神奈川県放射線友の会会則第 11 条により令和 7 年 3 月 15 日に職務を実施したので報告します。

1 会計監査

会計業務報告については理事会開催時に毎回報告され、節約に努力され、正確かつ適正であることを認めます。本会（神奈川放友会）創立 18 周年記念会員懇親会会費一部負担する等参加者に対する有効な活用を実施されている事を評価します。Newsletter の発送に関しても経費節減等に考慮されている事、感謝申し上げます。

2 会務監査

昨年度本会重点事業活動であった「高レベル放射性廃棄物の地層処分の学習と広報活動」を今年度も継続事業計画として、NUMO 学習支援活動（地層処分）に積極的に応募し「東濃地科学センター見学」、「講演と音楽の集い」を企画し開催した。

大きな成果を得る事が出来た。会員間親睦の企画として「金沢文庫と称名寺散策」と「本会創立記念会員懇親会」を開催し親睦を深める活動を実行した。また、Newsletter 年 4 回の発行と本会のホームページの更新と広報活動を年間通して実行して来た。年 5 回の理事会開催と開催時に Newsletter 発行発送準備を役員一同協力して行って来た。役員間の連帯を深めていると高く評価する。魅力ある会（憩いの館）を目指し会員増の企画と対策を検討し入会促進活動をお願いする。

監事 福田 利雄 ㊦ 小松崎眞一 ㊦

III 令和 7 年度 事業及び予算(案)

令和 7 年度の事業計画は例年通りの「背伸びせず、無理せず、急がず、身の丈相当」の基本方針での活動を目指します。

1 事業計画

活動の原動力は会員の組織力が第一ですので、会員の増加を図り、会の目指す「気楽に集まり『過去を語り、現在を語り、未来を語ろう』のような『憩いの館』の会員親睦の活動と「放射線安全」について科学的に正しい情報を広報する社会活動を行う予定です。

今年度の事業計画概要は、次の項目通りです。

- ① 神奈川放友会 Newsletter」の発行（4 回/年）  
（編集企画の向上に努めます）。
- ② ホームページの充実と更新。
- ③ 放談会の開催。
- ④ 「原子力発電廃棄物の最終処分を考える」等の会員勉強会の開催。
- ⑤ 放射線・放射能の安全について県民に正しい情報を提供。

2 令和 7 年度 予算案

	収入	予算額	前年度予算額	増減
会費		50,000	50,000	0
雑収入（寄付金等）		10,000	10,000	0
事業収入等		0	0	0
前年度繰越金		66,755	72,681	-5,926
<b>収入合計</b>		<b>126,755</b>	<b>132,681</b>	<b>-5,926</b>
	支出	予算額	前年度予算額	増減
支出の部	印刷費	20,000	20,000	0
	発送費	20,000	20,000	0
	活動運営費（会場費等）	10,000	10,000	0
	事務用品費	10,000	10,000	0
	会議室借用費	16,000	16,000	0
	会議費	10,000	10,000	0
	予備費	40,755	46,681	-5,926
	<b>支出合計</b>		<b>126,755</b>	<b>132,681</b>

3. 役員改選案

3 月 15 日(土)開催の第 5 回理事会にて「役員推薦委員会」（理事会が担う）を立上げ、役員を推薦した。

理事候補

- ・中村 豊 ・橘 亨 ・小嶋 昌光
- ・長谷川 武 ・橋口 邦紘 ・早瀬 武雄
- ・草柳 伸彦 ・千田 久治 ・仙臺真紀夫
- ・坂井 茂夫

監事候補

- ・福田 利雄 ・小松崎眞一

相談役候補

- ・野口 雄司

4. 役員立候補者を募る総会 1 週間前の期日にて自発的な役員立候補者を期待しておりますので、よろしくお願ひいたします。（立候補者は「役員推薦委員会」が総会に推薦し承認を得る。）

（「はがき」の書面決議に記載されている「事業への意見」は、メールにてお寄せください。）

同封の「はがき」に総会出席と書面評決＜賛成・反対＞を記載し 4 月 10 日（木）必着で返信してください。ホームページの「憩いの館」に事業内容を掲載しています。

# 神奈川県放射線友の会

## 「高レベル放射性廃棄物の地層処分」学習支援事業参加の紹介

長谷川 武

### 1. はじめに

「神奈川県放射線友の会（略称：神奈川県放友会）」設立は2007年（平成19年）11月17日です。

組織活動は「イベント企画、機関誌 Newsletter の発行、HP の活用による情報交換や放射線関連情報の提供と共に、出版事業・高レベル放射性廃棄物の地層処分の学習と啓発・市民講演会開催事業などです。

「東京電力福島第一・第二原子力発電所見学」の後、東京電力パワーグリッド神奈川総支社より「NUMO 学習支援事業2019年」を紹介されました。放射性廃棄物に関心があったのでこの事業に応募した。

### 2. 「Newsletter」発行 とHP 開設事業

- A4版 8頁 年4回の発行  
現在：Vol.17 No.3（第67号）
- HP：[//kanagawahohyuh.sakura.ne.jp](http://kanagawahohyuh.sakura.ne.jp)

### 3. 出版事業

- 第1版：「食と放射線」—放射線と共生するために—  
—副読本— A4版 129頁 2012年9月発行
- 第2版：「食と放射線」—安全・安心への取り組み—  
—副読本— A4版 167頁 2013年11月発行
- 第3版：「食と放射線」—放射性物質の汚染実態と風評被害—  
—副読本— A4版 111頁 2017年9月発行



- 「福島原発と富岡」訪問記  
A4版 96頁 2018年11月17日発行
- 六ヶ所村「日本原燃 原子燃料サイクル施設」と「青森県量子科学センター」の見学記  
A4版 64頁 2020年1月31日発行
- 放射性廃棄物の処理—知り・学び・考えよう—  
A4版 188頁 2020年1月31日（非売品）
- 原子力発電 廃棄物の最終処分を考える  
A4版 116頁 2022年2月28日（非売品）

私ども神奈川県放友会にできることは、色々なことを見聞きし、学んでそれを発信するのが活動です。



### 4. 「福島県における食と放射線の安全・安心への取組」と「東電福島第一・二原発」の視察

- 神奈川県議会議員の視察に同行し、福島県庁と主な施設で放射能対策を視察 2013.4.11・12
- 「原発事故の被災地富岡町・東京電力福島第一原子力発電所・福島第二原子力発電所の視察」  
視察日：2018年7月11・12日

### 5. イベント開催の実績

- JAXA 宇宙科学研究所と相模原市立博物館見学  
2019年8月17日
- 地層処分についての勉強会
  - ① 放射性廃棄物の取組の現状と課題  
講師：元東北大学教授 柘山 修  
(2019.10.26)
  - ② 「核燃料サイクルと放射性廃棄物処分」と「J-PARCにおける核変換の研究」  
講師：元日本原子力研究開発機構 岡本弘信 2023.10.16
  - ③ 「高レベル放射性廃棄物の地層処分について」  
地層処分の最近の状況（寿都町・神恵内村・玄海町について）  
講師：NUMO 広報部・地域コミュニケーショングループ 原 一郎 2024.09.26
  - ④ 見学会参加者の事前学習会 10回以上
- 原子力関連施設の見学
  - 1) 六ヶ所村 日本原燃「原子燃料サイクル」& 六ヶ所村 青森県量子科学センター  
(2019年11月12・13日)

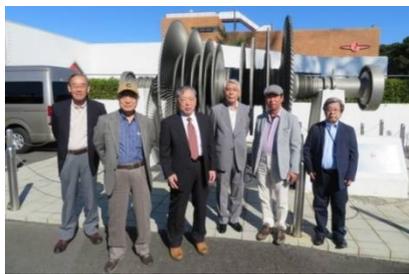


2) 幌延深地層研究センター



2021年10月18・19日 地下300にて

3) 日本原子力発電東海第二原発 と JAEA 核燃料サイクル工学研究所 2023.10.17



日本原子力発電東海第二原発の管理棟付近にて

4) 東濃地科学センター 2024年9月26・27日



土岐地球年代学研究所 & 超深地層研究所埋め戻し跡地

## 6. 地域住民に対する「放射線の安全・安心」への啓発活動

- 茅ヶ崎市民に「食と放射線」第2・3版を寄贈  
茅ヶ崎市役所訪問 2017年12月21日



茅ヶ崎副市長・環境部長さんへ贈呈

- 特別講演会「福島第一原発 廃炉作業の取組」  
東電バ神奈川支社 副支社長 吉村 陽  
東電原子力センター 副所長 鈴木総博  
会場：桜木町ワシントンホテル5F  
開催日：2018年4月7日

## ● シルバー男の談話室 講演会

- 1) 福島第一原発汚染水の現状と処理  
講師：神奈川放友会 中村 豊
- 2) 使用済み燃料の地層処分  
講師：神奈川放友会 早瀬武雄  
「原子力発電廃棄物の最終処分を考える」  
(A4版116頁)を全参加者に配布



会場風景

## ● 市民公開講演会 2023年12月3日

原子力発電の高レベル放射性廃棄物  
地層処分の現状について

講師：東海大学教授 若杉圭一郎

神奈川放友会制作の「パンフレット」(A4版)  
の配布 「廃棄物の現状と最終処分への取組」

- ① 原子力発電 廃棄物の現状と最終処分への取組  
一知って欲しい「地層処分」一
- ② 原子力発電 廃棄物の現状と最終処分への取組  
一伝えます、大切なことを一



会場風景

## ● 講演と音楽の集い

第1回：横浜みなとみらい小ホール 2014.12.14

I部 講演「食品の安全・安心を求めて」

「食材への不安」講師：県議会議員 相原 康之

「食と放射線」講師：神奈川放友会 長谷川 武

II部 癒しの音楽 (アンサンブル音楽の森)

曲目：80日間世界一周のテーマ・グーグ「ホルベアの時代から」作品40プレリュード・他

第2回：横浜フォーラムホール 2024.12.01

I部 講演「高レベル放射性廃棄物の地層処分」

講師：東海大学工学部教授 若杉圭一郎

II部 「神奈川県放射線友の会」活動の紹介

III部 癒しの音楽 音楽の杜管弦楽団

指揮 野武 重忠氏

(ドヴォルザーク交響曲9番「新世界より」・他)

# 日本の「伝統的酒造り」が世界遺産に！！

中村 豊

日本の「伝統的酒造り」がユネスコより無形文化遺産に決定された。私は親の教えの「楽しい、美味しい酒を飲め」を守り、仲間や家族と、また独りで酒を楽しんでいる。若い頃は「麴」の匂いが嫌いでビールやウイスキーなどの洋酒を好んで飲んでいて、いつからか、肴に合う、さっぱりとした味の日本酒が好きになり、今は日本酒が最も美味しいと思って飲んでいる。

## 日本酒の起源

3 世紀に成立した「魏志倭人伝」の記述に倭人のことを「人性嗜酒（さけをたしなむ）」と評しており、喪に当たっては弔問客が「歌舞飲酒」をする風習があることも述べている。ただ、この酒が具体的に何を原料とし、どのような方法で醸造したものなのかは知ることはできない。因みに、酒造りが巫女（みこ）の仕事であり、酒と宗教が深く関わっていたことを示している。

古代の酒は、出雲や博多に現在も残る練酒（ねりぎけ）といわれ、ペースト状でねっとりとしたものが標準的であったようである。現在でも、皇室における新嘗祭では、古代の製法で醸造した白酒（しろき）、黒酒（くろき）という二種類の酒が供えられるという。

## 清酒の起源

「濁酒（どぶろく）」から濁りを漉しとるだけならば、布、炭、砂などで濾過する原始的技術があったため、当時の日本で粘度の高い古代酒から、今日のような透明でサラサラとした清酒を精製することは決して不可能ではなかっただろうともいわれている。しかし、一方では天平年間の地方諸国の収支報告書である正税帳には「浄酒（すみさけ）」といった語も出現するため、「清酒」は「清（きよ）め」など祭事的な用途に使われる酒を意味していたという説もある。また、庭田神社（岡山県宍粟市）には米から製造された日本酒に関するもっとも古い記述があり、日本酒発祥の地といわれている。いずれにせよ清酒は、平安時代以降の僧坊酒にその技術が結集されていくことになる。また、この酒（菩提泉）をもって日本最初の清酒とする説もあり、それを醸した奈良正暦寺には「日本清酒発祥之地」の碑が建っている。また兵庫県伊丹市鴻池にも「清酒発祥の地」の伝説を示す石碑がある。兵庫県伊丹市に鴻池稲荷祠碑が建ち、市の文化財に指定されている。



奈良 正暦寺

伊丹市 鴻池稲荷

## 日本酒造りに必要なもの 水

水は酒造りに欠かせないものである。清酒は約 8 割が水からできている。清酒を仕込む以外にも、酒米を洗ったり、水を吸わせたりする時に使うので、酒米の約 10 倍の水が必要になる。日本は山国で降雨量も多い。ことに日本各地には「名水百選」のような酒造りに適した素晴らしい水が多い。そのため、名水があるところには多くの蔵元が存在する。

## 酒米

日本酒は米を主原料にして造られる醸造酒である。したがって、用いる米によって酒の味も大きく変わる。酒造りに向くように開発された米を「酒造好適米」または「酒米」と呼ぶ。種類は数多くあり、作り手は、めざす味に合わせて米の種類を選ぶ。食用米と酒米の違いは、1 つ目の違いとして粒の大きさにある。酒米は食用米に対して粒が大きい。米の外側に含まれているタンパク質や脂質は、ご飯として食べる際は、旨みや栄養の役割を果たすが、日本酒においては雑味の原因となってしまう。2 つ目は、酒米は食用米と比べて、たんぱく質や脂質の含有量が低いということが挙げられる。3 つ目は、酒米中心に白色不透明な心白という部分が存在する。でんぷんの組織で柔らかくたんぱく質の含有量も少ない。この心白があるおかげで、お酒に旨みが乗り、味わいに厚みや幅が出やすいといった特徴がある。

酒米の王者と言われるのが、昭和 11 年に兵庫県で開発された「山田錦（やまだにしき）」である。山田錦は大粒で、中心の心白が割れにくい性質があり、全国の酒蔵が使っている。その他、雄町（おまち）、五百万石（ごひゃくまんごく）、美山錦（みやまにしき）、八反錦（はったんにしき）など多くの酒米が開発され、日本酒の味に変化をつけている。

## 麴（麴・糀）菌

麴菌は日本醸造学会から「国菌」とも呼ばれ、「麦」と「米」から種麴が造られ、室町時代から酒造りに使用されてきた。酒、焼酎、醤油、味噌、酢などの日本の伝統の発酵食品の製造に広く使われている。

## 杜氏

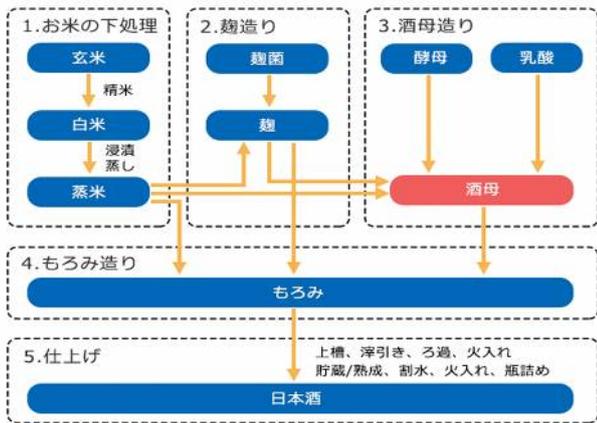
酒造りのリーダーである杜氏は、原料選びから、日本酒の製造工程、貯蔵、熟成まで、全ての製造工程に目を配り、責任を持つ。酒造り全てに精通しているプロフェッショナルといえる。杜氏という名前の由来は、もともと家事全般を仕切る主婦を意味する「刀自（とうじ）」であった。つまり、酒造りは女性の役目だった。しかし、酒の需要が徐々に増え、生産量が増えていく中で、力作業が多くなり、酒造りは男の仕事へと変わっていった。有名な杜氏集団には、南部杜氏（岩手県）は最盛期の昭和 40 年には 3200 名が加盟していた。越後杜氏（新潟県）は新潟の盛んな酒造業を支え、全国各地の銘酒を造っている。丹波杜氏（兵庫県）は江戸時代から一大生産地「灘の酒」を支えていた。現在は蔵元杜氏も多く存在する。

## 日本酒の製造

日本酒の製造には、酵母と米が酒へと発酵する過程が必須だが、**酏**（もと）は酒の母体となるもので「酒母」とも呼ばれる。酵素の働きは発酵に不可欠である。酏は、仕込み水、麴、蒸米の混合物で、その中で強い発酵力を持つ元気な酵母を育てることが酏造りでは重要となる。

最も大切なのは、大気中に無数に存在する雑菌から酵母を守ることである。防御となるのは、強い抗菌力を持つ乳酸である。自然界に存在する乳酸菌により生成されるが、乳酸は蒸米にも水にも発生する。これをうまく利用することで健全な酏が造られる。酏に、水、麴、蒸米をさらに加えて増量し、発酵させた醪（もろみ）を搾る。これが酒造りの工程である。

日本酒の製造工程



奈良時代では僧侶による寺院醸造が盛んであった。やがて時代が進み、酒造りの拠点が寺院から町の造り酒屋へ移行する。江戸時代中期の灘の酒蔵では、蒸米と麴を糺（かい）ですりつぶす「酏すり」で乳酸を生成する「生酏」の製法が確立された。明治時代には、酒税が国の主要財源となるため、政府は醸造技術の向上に注力した。明治後期には「酏すり」の労力を省いた「山麴酏」、人工的な乳酸を添加する「速酏」が誕生した。これが酏の主流となっていく。

## 日本酒の味わい

日本酒の味わいを表す言葉は「辛口」「甘口」「淡麗」「濃醇」とあるが、日本酒サービス研究会・酒匠研究会連合会が提唱した、味の濃淡と香りによって、「薫酒」「熟酒」「爽酒」「醇酒」に分類される。

「薫酒」は果実や花を想起させるフルーティーで華やかな香りと、軽快でさっぱりとした味わいが特徴である。ワインのようで、海外での日本酒人気をけん引している。「純米大吟醸酒」「純米吟醸酒」「大吟醸酒」「吟醸酒」が該当する。特有の香りを生む「吟醸酵母」を使った「純米酒」や「無ろ過生原酒」の酒もある。

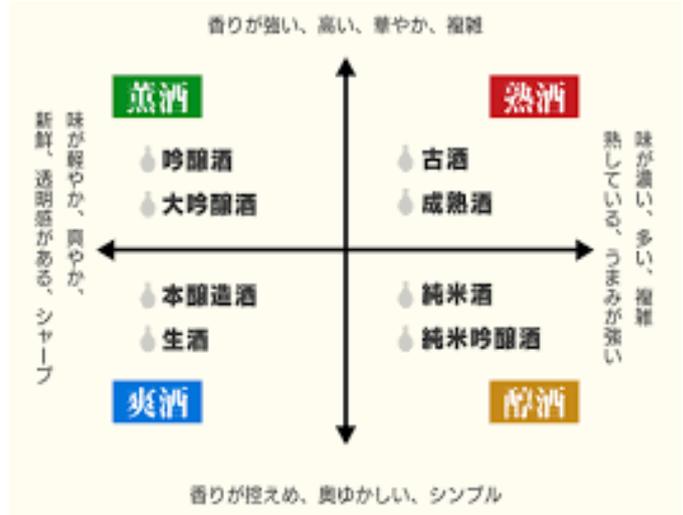
「熟酒」は黄金色の色調で、とろりとした飲み口と甘味・酸味・苦味が合わさった複雑で深い濃厚な味わいが特徴である。長期間熟成させた「古酒」「秘蔵酒」「長期熟成酒」と呼ばれる酒が該当する。

「爽酒」は穏やかな香りとすっきりとしたさわやかな味わいが特徴で、清涼感のある飲みやすいものが多い。

「吟醸酒」から「本醸造酒」「生酒（または生貯酒）」、

「普通酒」、「低アルコール酒」まで、幅広い酒が該当する。

「醇酒」は落ち着いた香りと、原料米由来の旨味やコクがある「濃醇」な味わいが特徴である。米のみを原料に造られる「純米酒」をはじめ、天然の乳酸菌と酵母を手間と時間をかける「生酏造り」や「山麴仕込み」で醸された酒の多くが該当する。また、香味成分が豊富な「無ろ過生原酒」や、アルコール度数が高い「原酒」も該当する。



## 日本酒を飲む温度

日本酒はさまざまな温度で楽しめる酒である。その味わいや香りは温度によって多彩に変化する。その温度の表現は 10 段階もある。**雪冷え**（約 5 度）氷水につけて冷やした温度。**花冷え**（約 10 度）冷蔵庫で数時間冷やした温度。**涼冷え**（約 15 度）冷蔵庫から出してしばらく置いた温度。**常温**または**冷や**（約 20 度）。**日向燗**（約 30 度）冷たくも熱くも感じない温度。**人肌燗**（約 35 度）体温と同じかやや低い温度で、口に含むとぬるく感じる。**ぬる燗**（約 40 度）体温よりやや高い燗酒向けの温度。**上燗**（約 45 度）徳利を持つと温かさを感じ、注ぐと湯気が立つ温度。**熱燗**（約 50 度）徳利から湯気が立つ温度。**飛びきり燗**（約 55 度以上）徳利を持つと熱いと感じる温度。

日本語ならではの風情ある表現は、幅広い温度帯で味わえる日本酒の懐の広さを象徴している。

## 酒造元

日本酒の酒蔵元は全国で 1600 以上（参考：国税庁 清酒製造業の概況／平成 28 年度調査分）、銘柄は 1 万以上といわれている。酒蔵数は 1 位新潟県、2 位長野県、3 位兵庫県である。生産量は 1 位兵庫県、2 位京都府、3 位新潟県である。「アルコールといえば日本酒」の時代だった昭和初期には 7000 以上の蔵元があったが、徐々に減ってきているのが実情である。ちなみに、神奈川県には相模川沿いに 7 蔵、酒匂川沿いに 6 蔵の蔵元がある。それぞれの蔵に味わいの深い酒が多くある。

「和食」が「日本人の伝統的な食文化」という意味でユネスコ無形文化遺産に登録され、今度は日本酒も認定された。日本酒は「和食」にはなくてはならぬ友のような存在である。今宵は乾杯しよう！！

会告

令和7年度神奈川県放射線友の会 総会のお知らせ



令和7年度 神奈川県放射線友の会の総会を下記の通り開催する。

会長 中村 豊

開催日 令和7年4月19日(土) 10:00 ~ 11:00

開催場所 公益社団法人 神奈川県放射線技師会 504 会議室

**\* 出席欠席に関わらず、同封のはがき(書面評決)を記載し4月10日までに返信ください。**

みんなの広場

■ 米国 トランプ大統領再就任

日本時間 21 日午前 2 時、第 47 代大統領に就任した。「米国第一主義」の下、国益を最優先にするトランプ政権が 4 年ぶりに復活した。来年 7 月 4 日は 250 回目の独立記念日を迎える。

■ イチロー氏 米殿堂 日本人初

米大リーグのシアトルマリナーズなどで 19 年間プレーし、日米通算 4367 安打を放ったイチロー(本名・鈴木一朗)氏が 21 日(日本時間 22 日)日本人初の米国野球殿堂入りを果たした。16 日には日本で殿堂入りしていたイチロー氏は、日米で資格を得て 1 年目で選出された。これらの功績によりマリナーズは背番号 51 を永久欠番とした。

■ 放射線技師育成の大学が横須賀市に開学へ  
2027 年 4 月開学予定

学校法人中央医療学園が運営する「中央医療技術専門学校」(東京都葛飾区)が企業の研究施設を擁する「横須賀リサーチパーク」(YRP)に移転し、「中央医療大学」(仮称)としてリニューアルする。

「中央医療技術専門学校」は、放射線技師育成に特化した専門学校として、60 年以上の実績を持つ。夜間部を開設しているのも特筆される。医療技術は日進月歩で躍進し、昨今、「診療放射線機器類は、飛躍的な進歩をしており、診療放射線技師も知識および技術の習得にさらなる向上が求められている」ことなど、高学歴化が進みつつある背景から、中央医療学園では、2022 年より横須賀市に対し大学進出の打診を行っていた。一方、YRP は、1997 年に電波・情報通信を中心とした ICT 技術の研究開発拠点として、同市の他、郵政省(現総務省)、京浜急行電鉄の 3 者が一体となって開設。近年では、他業種も進出し、異業種間の連携・協業による新産業創出に期待が高まっている。(原子力産業新聞より引用)

■ 世界気温 24 年平均 15.1 度

2025 年 1 月 10 日 EU 気象機関は、2024 年の世界平均気温は観測史上最高となり、産業革命前からの上昇幅が初めて 1.5 度を超えたと発表した。

温暖化対策の「パリ協定」が掲げるレベルを超える瀬戸際にいると危機感を示し、産業革命前の平均気温と比較して 1.6 度上昇している。

気温上昇の要因としては、温室効果ガスの増加に加えて、2023 年のエルニーニョ現象を挙げている。多くの海域で海水面の温度の異常な上昇が続き、気温を押し上げたとしている。

■ AI 開発に特化したスパコンが稼働を開始

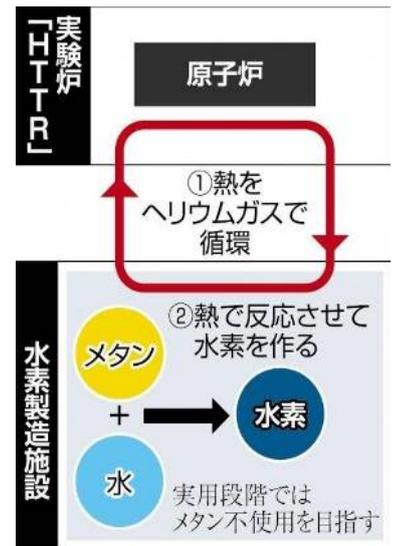
産業技術総合研究所は 1 月 20 日、AI の研究開発に特化したスーパーコンピューター「ABCI 3・0」の本格稼働を始めた。AI 向けの計算方法で 1 秒間に 620 京回計算でき、画像、文章、音声や大きさ、距離を 3 次元に計測したデータなど複数の形式を組み合わせた「マルチモーダル生成 AI」の研究やロボットとの融合に取り組む予定である。

■ 次世代原子炉の高熱で水素製造、大洗町に建設計画…原子力機構が規制委に審査申請へ

日本原子力研究開発機構は 2 月にも、次世代原子炉「高温ガス炉」と一体で運用する水素製造施設の建設に向けて、原子力規制委員会に審査を申請する方針を固めた。高温ガス炉の実験炉「HTTR」(茨城県大洗町)の隣に設置する計画で、水素製造が実現すれば世界初となる。2025 年度に規制委の審査で「合格」を取り付け、28 年度に運転開始を目指す。高温ガス炉で水素を作る仕組み

高温ガス炉は、従来の原発と同じ核分裂反応を利用するものだが、冷却機能に水ではなくヘリウムガスを用いる。原子炉で得られる熱が 300 度に対し、高温ガス炉は 800 度以上とはるかに高く、水素製造に必要な温度を得られる。発電だけでなく、脱炭素エネルギーの一つである水素の生産にも活用できるのが特徴だ。

(読売新聞オンラインより引用)



将来は水素を燃料電池自動車、製鉄所、化学工場などで活用



編集後記

☆ ★ ☆ ★  
会員の近況報告をお寄せください。